



道徳だより 12



11月

『心の温度計』の授業から

「節度ある生活のための工夫」について考える学習を行いました。教科書のお話は、テレビゲームのやり過ぎやテレビの見過ぎでいつも母親から度が過ぎると叱られている主人公が、度が過ぎたら教えてくれる「心の温度計があればいいのに」と考えるという内容でした。学校や家庭での生活リズムについて、先生や家の人に言われてから行動していたり、何かに夢中になりすぎてしまうと度が過ぎてしまったりすることもある自分の経験から、自分で自分をコントロールすることの難しさについて考えていました。

後半では、「度が過ぎてしまうときの自分」を意識して、それを改善するために自分に合った方法を工夫して生活することで、すっきりした気持ちで生活できたり、気持ちが元気になれたりするよさに共感し考えていました。

終末では、自分の生活をふり返り、度が過ぎないように、「時間を決めて遊ぶ」「嫌だけどやらなくちゃいけないことは後回しにしないで先にやるようにする」などの具体的な方法や、既に進んで取り組み始めていて続けられるように頑張っていることなど、様々な発言がありました。

